

令和4年度事業報告書

公德学園

1. 全般の状況

(1) 処遇内容

当園の処遇重点目標である『安全と自立』に基づき、子どもたちが安全で安心して生活できる環境を提供すると共に、自立に向けての様々な援助を行った。

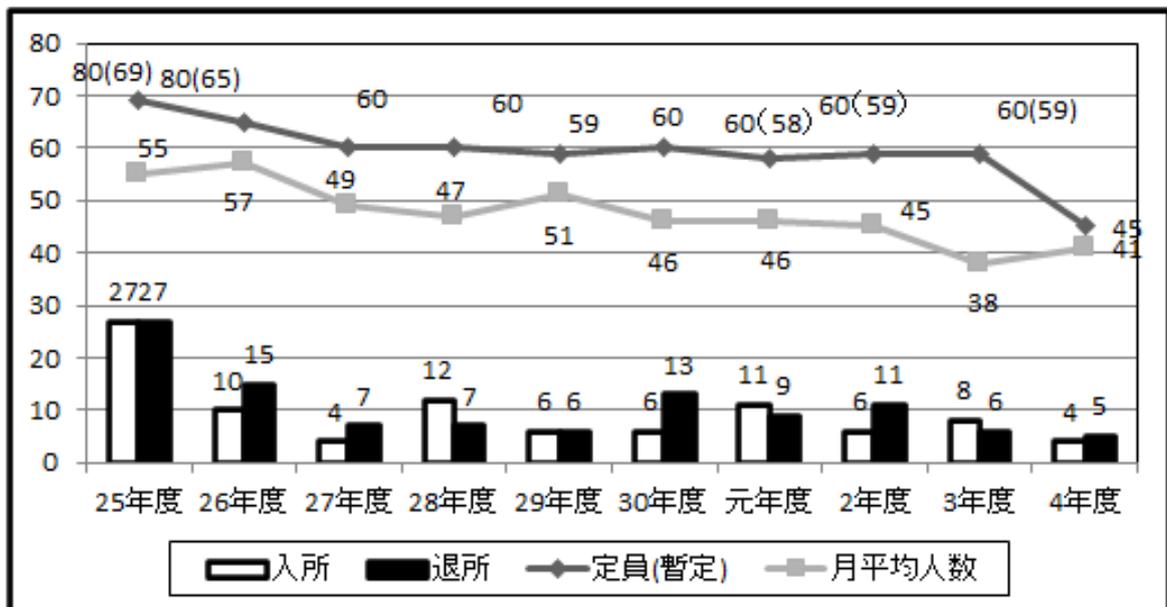
1月末に、新型コロナウイルス感染による施設内クラスターが発生し、陽性あるいは濃厚接触の児童（疑いの児童も含む）は施設内での隔離、職員にも感染が拡がり、自宅待機になるなど困難な状況を余儀なくされた。

全職員の協力体制のもと、1カ月の期間は要したものの、終息を図ることができた。

- ① 中舎制のグループ(男子:ゆずりは、女子:さくら)が、それぞれの特色を生かし、子どもたちのケアにあたった。小規模グループ(男子:けやき、女子:椿)では家庭的な生活環境の中で、自立に向けた様々なスキルが身につくようケアを展開した。
- ② 中高生に対して自立に向けての職業指導プログラムを実践した。
- ③ 被虐待等、より心理的ケアが必要な子どもに対して、臨床心理士によるセラピーを実施した。臨床心理士と直接処遇職員による連絡会を実施し、連携を図った。
- ④ 給食については、季節感や行事食をとり入れ、変化に富んだメニューを提供した。更に栄養バランス・食事摂取基準を考慮し、子どもたちの発育を促した。
- ⑤ 例年、中高生による自主活動委員会が中心となり、職員がサポートをして、園内行事(キャンプ・子どもの広場等)を計画していたが、本年は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

(2) 児童状況

月平均在籍児は40.8名。入所児4名、退所児5名。一時保護委託児は4名（延べ40名）を受け入れた。



(3) 年間実施行事

※コロナウイルス感染拡大の影響で、多くの行事が中止あるいは規模縮小となった。

4月	14日	保育室健診	10月	13日	保育室健診
	23日	防災設備点検・避難器具訓練		19日	保育室遠足
				26日	防災設備点検・避難器具訓練
				30日	子どもお楽しみ会
5月	5日	子どもの日	11月	10日	保育室健診・職員定期健康診断
	12日	保育室健診		14日	目で見ると自然教室（日帰り）
	24日	健康優良児表彰式		15日	創立記念日パーティー
	27日	保育室歯科検診		20日	学習コンクール
				25日	保育室園外保育・歯科検診
6月	9日	保育室健診	12月	3日	学習コンクール表彰式
				8日	保育室健診
				11・19日	USJ 招待（大阪府）
				24日	クリスマス会
				25・27日	京都水族館招待
				29日	餅つき
				31日	除夜の鐘
7月	7日	七夕・保育室健診	1月	1日	新年の集い
	14日	ソフトボール部オリエンテーション		12日	保育室健診
				26日	CAP 研修（延期）
8月	2日	施設林間（中止）	2月	3日	節分
	8・15日 22・23日	映画上映会		9日	保育室健診
	11日	保育室健診			
	23・24日	地藏盆			
	26～28日	作品展			
	28日	交歓ソフトボール大会（中止）			
	30日	除草作業			
9月	22日	保育室健診	3月	3日	ひなまつり
				9日	保育室健診
				15日	卒園・卒業祝会
				27日	児童・職員定期健診
				27日	離着任式

(4)施設運営全般

- ① 苦情解決システム
意見箱を設置し、入所児・保護者等から意見を聞き、リーダー会議にて随時協議、対応した。又、第三者委員に報告し、助言・指導をもらった。
- ② ヒヤリ・ハット制
職員から処遇上危険を感じた事例を職員会議等であげ、職員間で共有し、事故を未然に防ぐ対策を講じた。
- ③ 第三者評価受審
指定機関による第三者評価を受審した。助言については、今後の施設運営に生かしていく。
- ④ 情報開示
全社協・経営協・東大阪市のインターネット上に法人調書・会計状況の開示を行った。
- ⑤ 職員の資質向上
職員の資質の向上、専門性の向上のため、研修計画に基づき研修に取り組んだ。

◎園内研修

階層別研修	各階層ごとのテーマ
人権研修	子どもの人権・施設内虐待防止
処遇研修	子どもとの関わりについて、防災について
OJT 研修	日々の業務の中で各部署責任者が職員に対して実施する

- ⑥ 職員の資質向上
次年度採用見込み者に対して、就職前に一定期間非常勤職員として雇用し、丁寧な指導期間の確保を図り実際の業務を通じて、援助技術等の習得を図った。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染予防対策
施設独自の指針を作成。状況に応じて更新し、対象者の感染予防対策を行った。

2. 地域福祉サービス

ショートステイ(子育て短期支援事業)

レスパイト(養育休養)の理由で、1名(延べ18名)のショートステイを受け入れた。

3. 社会貢献事業

- ① 子どもの広場(中止)
施設を開放し、地域交流のためのイベントを計画したが、コロナウイルス感染拡大のため中止となった。
- ② ボランティア活動・地域清掃(中止)
例年、地域の福祉施設を定期的に訪問し、作業を共に行うなど入所者との交流を図っていたが、コロナウイルス感染拡大のため中止となった。また、学校・公園・周辺道路等を清掃し、近隣の美化に努めていたが、同様にコロナウイルス感染拡大のため実施できなかった。

4. 環境整備

(1) 新型コロナウイルス感染予防対策

新型コロナウイルス対策補助金（大阪府）を活用し、パーティション・マスク・消毒液・使い捨てガウン等、感染対策に必要な器具・衛生用品を購入。入所児等の感染予防の徹底を図った。

(2) 防災対策

毎月避難訓練・消火訓練を実施し、児童・職員共、防災意識を徹底した。

自主防衛組織を作り、各所点検を行った。

防災設備業者（カワチ設備）による防災設備の点検を行った。

国の補助金を活用して、災害用の調理用品等を購入した。

5. その他継続した事業

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、計画をしていたが、一部中止となった。

① 地域活動への参加（小中学校地区活動、地域防犯・青年会活動）（一部中止）

② 実習生の受け入れ

7校18名の実習生を受け入れた。【大阪総合保育大学5名、龍谷大学1名、甲南女子大学3名、龍谷大学短期大学部2名、大阪教育福祉専門学校3名、東大阪大学短期大学部3名、大阪府立大学1名】

③ ボランティアの受け入れ（中止）

④ 卒園生のアフターケア（社会に適応できるように悩み相談等の自立支援）を行った。

⑤ 『学園だより』を毎月発行し、保護者・関係機関等に施設・児童状況を知らせた。